



日本地理学会

The Association of Japanese Geographers

<http://www.ajg.or.jp/>



公益社団法人日本地理学会

1925（大正14）年創立 会員数約3,000

研究分野：地形・気候・水文・植生・環境などの**自然地理**、経済・社会・政治・人口・都市などの**人文地理**のほか、世界各地の自然・歴史・産業・文化などの**総合的な地域研究**、**地図・リモートセンシング・GIS**（地理情報システム）

高等学校学習指導要領における地理科目の改訂の方向性（案）

- 持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地味的な諸課題を考察する科目
- グローバルな視点から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察する科目
- 地図や地理情報システム(GIS)などを用いることで、汎用的で実践的な地理的スキルを習得する科目

平成28年8月27日
教育課程部
高等学校の地理・公民科
の在り方に関する特別チーム
資料11-1

2022年以降

「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者」を育成するために

現行地理A科目

資質・能力

新必修科目

地理A

(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察

- ア 地球儀や地図からとらえる現代世界
- イ 世界の生活・文化の多様性
- ロ 地味的な諸課題の地理的考察

(2)生活圏の諸課題の地理的考察

- ア 日常生活と密着した地図
- イ 自然環境と防災
- ロ 生活圏の地味的な諸課題と地域調査

社会的意義の地理的考察方法を
考えよう

持続可能な社会づくり に求められる地理科目

- に考察したり、地域にみられる課題を把握し、その解決に向けて着想したりする力 など
- 持続可能な社会づくりに向けて、地味的な諸課題を意図的に追究しようとする態度 など

「地理総合」(仮称)

(1) 地図と地理情報システムの活用 **GIS**

⇒以前の地理学習等の基礎となるよう、地理を学ぶ意義等を確認するとともに、地図や地理情報システム(GIS)などに関わる汎用的な地理的スキルを身に付ける。

(2) 国際理解と国際協力 **グローバル**

ア 生活・文化の多様性と国際理解
⇒自然と社会・経済システムの調和を図った、世界の多様性のある生活・文化について理解する。

イ 地味的な諸課題と国際協力
⇒地球規模の諸課題とその解決に向けた国際協力の在り方について考察する。

(3) 防災と持続可能な社会の構築 **ESD**

ア 自然環境と災害対応
⇒日本国内や地域の自然環境と自然災害との関わりや、そこでの防災対策について考察する。

イ 生活圏の調査と持続可能な社会づくり
⇒生活圏の課題を、観察や調査・見学等を取り入れた授業を通じて捉え、持続可能な社会づくりのための改善、解決策を探究する。



- 地域調査士・GIS学術士
- 高校生ポスターセッション
- 地理オリンピック
- 災害対応
- 文芸情報

Next Page

日本地理学会災害対応委員会

<http://ajg-disaster.blogspot.jp/>

2018年3月12日月曜日

日本地理学会公開シンポジウム「防災の基礎としての地形分類図」

防災の基礎としての地形分類図

主催：日本地理学会災害対応委員会
日時：2018年3月22日（木）13:00～16:00
会場：東京学芸大学（日本地理学会会場）
〒104-8501 東京都小笠原区北町4-1-1
オ ナイザ：久保輝子（宇宿田人）・早川幸弘（施設人）

ラベル

- 公開シンポジウム
- 災害緊急速報

リンク

防災学術連携体

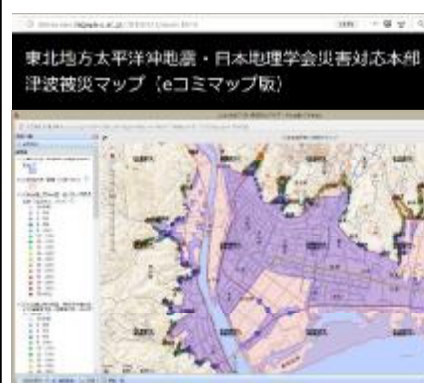
ブログアーカイブ



※このHP ページでは、緊急災害速報、地理学会会員からの調査報告、公開シンポジウムなどの情報を発信します

2011年発足 1)災害時の会員による調査活動の促進、2)対外的情報発信 [最近の活動事例]

- ①2011年東日本大震災・・・詳細津波webマップ、被災調査、復興支援
- ②2015年関東・東北豪雨（常総水害）・・・ハザードマップ検証、「自然堤防」等、用語の誤用を指摘
- ③2016熊本地震・・・地震断層調査・活断層図作成 **（活断層研究者の大半は地理（地形）学者）**



地理学者がセンター長

国土地理院活断層図「熊本」改訂版